



ICHIKAWA LIBRARY

参考業務月報

2023 年 7 月号

発行：市川市中央図書館 編集：レファレンスカウンター 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 TEL. 047-320-3346

	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
7月	727	481	544	55	0	1,807	861	56	189	228	132	497	3,770
累計	2,831	1,842	1,647	147	15	6,482	4,975	192	744	623	511	1,849	15,376

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

🔍 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

I/H5 江戸川河川敷の市川市側に並ぶ野球場がどうして作られるようになったのか経緯を知りたい。昭和 49 年にグラウンド整備に関する陳情が出されたようである。

『市川市史年表』（市川市史年表編集委員会／編集 市川市 1977）の p.413-414 に、「昭和 47 10 月 市川商工会議所・北越製紙・明治乳業が専有していた江戸川河川敷野球場が市管理となる」との記述がある。

また、『市川市議会定例会会議録 昭和 49 年 9 月』（市川市議会事務局／編集 市川市議会 1974）p.1143 には「陳情第 18 号河川敷整備に関する陳情 大洲 2 丁目、大和田 5 丁目地先の江戸川河川敷グラウンドは、近年、水ぎわが侵食され、危険であり、また雨後の排水も悪いので、護岸工事を早急に施し、排水もよくしてほしいとの趣旨であります。本委員会といたしましては、願意の大体を妥当なるものと認め、採択すべきものと決定いたしました。」という記載がある。

その後、『教育調査 昭和 50 年度』（市川市教育委員会／編 市川市 1975）の第 7 章 青少年教育の「昭和 50 年度市川市青少年健全育成対策事業計画」p.108 に、「江戸川河川敷緑地整備工事運動施設の整備等」との記載があった。

なお、『市川市の教育』の社会教育・スポーツの項目に野球場の記載があり、『市川市の教育 昭和 54 年度版』（市川市教育委員会 1979）p.95 に野球場は 9 面とあり、『市川市の教育 平成 11 年度版』（市川市教育委員会 1999）p.86 には野球場は 10 面、また、『市川市スポーツ振興基本計画』（市川市文化スポーツ部スポーツ課／編集 市川市 2017）p.7 によると、平成 29 年に 12 面となっていたことが分かる。

210.5 将軍の婚礼の様子が載っている本はあるか。

『天璋院篤姫展』（NHKプロモーション／編集 NHK 2008）の第 2 章「婚礼～将軍家定と敬子～」P.70-71 に、第 13 代将軍徳川家定と、^{すみこ}敬子と名を改めた篤姫の婚礼にまつわる絵画が、2 点掲載されている。カラーによる『千代田の大奥』より「婚礼」と「徳川将軍家婚儀床飾膳部乃図」である。

また、『楽しく読める江戸考証読本 1』（稲垣史生／著 新人物往来社 2009）p.115-121 に第 14 代将軍徳川家茂と和宮の婚礼についての記述がある。

なお、江戸幕府・幕臣の典礼や儀式について絵入りで解説している『徳川盛世録』（市岡正一／著 平凡社 1989）p.211-226「婚姻」の項に、当時の婚姻に関する説明文と図が掲載されている。これは将軍だけでなく、武家の婚姻についても包括した内容になっている。

383.8 昭和・平成・令和時代の日本人の食の変遷について書かれている本はあるか。

『平成・令和食ブーム総ざらい』(阿古真理／著 集英社 2020)には、平成時代から令和初頭の食のトレンドから、時代の流れが見えるものをピックアップして紹介している。また、外食のジャンル毎の誕生や流行が載っているものに、『日本外食全史』(阿古真理／著 亜紀書房 2021)がある。

なお、『日本の家庭料理とレシピの一〇〇年』(平凡社 2022)、『昭和の洋食平成のカフェ飯 家庭料理の80年』(阿古真理／著 筑摩書房 2013)では、「家庭料理」という視点から、家族や社会の変化とともに、戦後から現在までの食を読み解いている。

「食」にまつわる事項を網羅し掲載しているものとしては、『日本の食文化史年表』(江原絢子／[ほか]編 吉川弘文館 2011)が詳しい。旧石器時代から今日までの日本における生産・加工・流通や、飢饉・農業政策・饗宴・流行・事件・新製品などが載っている。

また、統計情報として、文化庁が「日本の食文化等実態調査」(令和2年度)https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/syokubunka/pdf/93106101_01.pdf (2023.12.19 確認)を公開しており、1990年代以降の食文化に関連する意識の変遷等を見ることができる。

589.2 ふとん屋の仕事や寝具の歴史について書かれた本を探している。

ふとん屋の仕事については『寝たら治る 失敗しないふとん選び』(松井重信／著 角川SSコミュニケーションズ 2007)は寝具店の経営者である著者が、販売の様子や健康に良い寝具、睡眠の知識等について記述している。『プロから学ぶ修理ずかん 3』(フレーベル館 2021)のp.31の「ざぶとんやふとんの綿を打ち直す職人のわざ」の項に江戸時代から続く打ち直しの手順が写真とともに紹介されている。

また、寝具の歴史については、『寝所と寝具の文化史』(小川光暘／著 雄山閣 1984)、『昔からあった日本のベッド 日本の寝具史』(小川光暘／著 Edition Wacoal 1990)に日本の寝具の変遷が書かれている。

他にもこんな質問ありました (クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
535.8	眼鏡について、構造や歴史などがわかる本が見たい⇒『メガネがわかる本』(宝島社 2014)、『コンタクトレンズと眼鏡の科学』(久保田慎／著 日刊工業新聞社 2018)、『メガネの歴史』(ジェシカ・グラスコック／著 黒木章人／訳 原書房 2022)等を提供。	
728.5	江戸時代の作品がくずし字で載っている本はあるか⇒『くずし字で「おくのほそ道」を楽しむ』(中野三敏／著 角川学芸出版 2011)、『くずし字で「徒然草」を楽しむ』(中野三敏／著 角川学芸出版 2013)等を紹介した。	
813.5	^{いちげん} 「一見の客」「お得意さん」などお客に関する言い回しを知りたい⇒『三省堂類語新辞典』(中村明[ほか]／編 三省堂 2005) p.297の「客」の項目に「常客」、「出入り」、「得意」、「珍客」などの類語の記述があった。他に『新明解類語辞典』(中村明／編 三省堂 2015)、『使い方の分かる類語例解辞典』(小学館 2003)等を提供。	
K602	最近の日本の農作物の生産量等について、小学生が見て分かりやすいものを探している⇒『未来をつくる!日本の産業 農業』1・2巻(堀田和彦／著 ポプラ社 2021)、『調べる学習子ども年鑑 2023』(朝日小学生新聞／監修 2023) p.118-119に記載あり。農林水産省のHP「わがマチ・わがムラ ー市町村の姿ー グラフと統計でみる農林水産業」 http://www.machimura.maff.go.jp/machi/ (2023.12.19 確認)にも詳しい。	